

都道府県名：東京都 団体名：特定非営利活動法人雨水市民の会

地域

墨田区は東京都東部低地のゼロメートル地帯に位置し、隅田川・荒川・旧中川などに囲まれ、内部も堅川・横十間川・北十間川など、多くの川が流れる地域です。そのため、豪雨や台風によって河川の氾濫・浸水・冠水・高潮などの水害を多く経験してきた地域でもあります。1980年頃には両国や錦糸町地区で「都市型洪水」が度々発生していました。その解決策として墨田区が行った、国技館移転の際の雨水活用申し入れを皮切りに、1995年には、「墨田区雨水利用推進指針」が策定され、「雨水利用促進助成制度」や要綱に基づく雨水活用の指導が開始されるなど全国に先駆けて雨水活用の取組がさかんに行われてきました。

経緯

1994年に日本で初めて雨水活用をテーマにした国際会議「雨水利用東京国際会議」が墨田区で開催され、実行委員会が母体となり団体（前身の「雨水利用を進める市民の会」）が1995年に発足しました。以後、雨水タンク普及事業をはじめとする雨水活用の普及啓発を行ってきました。2003年には「雨水市民の会」に改名、2006年にはNPO法人化しました。

功績内容

長年にわたり墨田区のみならず国内外における雨水活用の普及に大きく貢献

● 被災地支援

阪神淡路大震災で被災地に雨水タンクを 100 基寄贈（1995 年）、東日本大震災で被災した陸前高田にて「雨水利用事業者の会」と共同で仮設住宅への雨水タンク設置の支援（2011 年）

● 国際協力支援

地下水のヒ素汚染や塩害により安全な飲み水の確保が難しいバングラデシュで 2000 年に雨水利用国際協力を開始、以後スカイウォータープロジェクトとして現地 NGO の雨水タンク普及事業に協力支援

● 環境学習事業、啓発イベント、雨水活用コンテンツの制作、調査研究の実施等雨水活用を市民へ広めるため幅広く活動中。特に、2024 年に開催された「第 14 回雨水ネットワーク全国大会 2024 in すみだ」及び「あまみずフェスティバル」では、大会運営にあたり、雨水活用の普及啓発を図った。



阪神淡大震災
雨水タンク寄贈



東日本大震災
雨水タンク設置支援



バングラデシュでの
雨水タンク普及事業支援



環境学習事業の実施



雨水活用コンテンツ（雨つぶ
ぐるぐるすごろく等）の制作



第14回雨水ネットワーク全国
大会2024 in すみだの開催